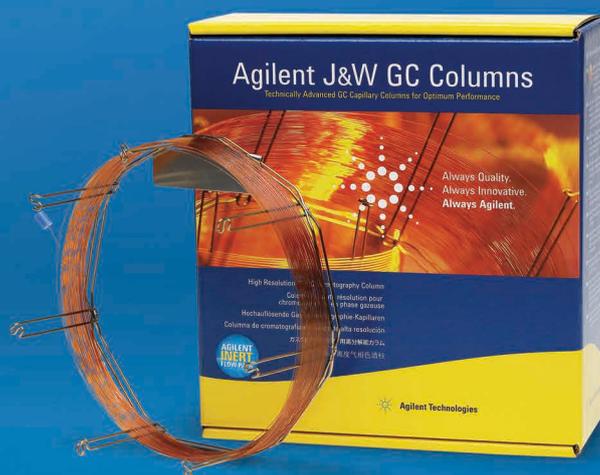


分析困難な極性化合物を 高い信頼性で分析

Agilent J&W DB-WAX ウルトライナート GC カラム



分析困難な極性化合物のピーク形状を改善し、再現性を高めることが可能に

極性化合物の分析には、ポリエチレングリコール (PEG) を固定相とする GC カラムが広く使用されています。このカラムは、食品、香り、および香料アプリケーションや、品質管理ラボおよびメソッド開発ラボでの化学分析に最適です。

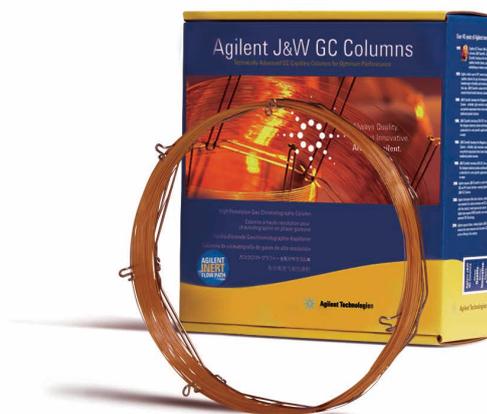
活性の高い複雑な極性化合物の分析では、流路の活性によって引き起こされる吸着は許されません。疑わしい分析をいくら繰り返したり確認したところで、貴重なリソースが無駄になるだけです。また、生産性を妨げ、その影響は収益にまでおよびます。得られた結果が信頼できないものであれば、日々口にする食品や、消費者および企業が日常的に使用する製品の品質にも深刻な影響をおよぼしかねません。

新たな Agilent J&W DB-WAX ウルトライナート GC カラムが極性化合物の分析に伴う不安を払拭

DB-WAX ウルトライナート GC カラムは、Durabond ポリエチレングリコール固定相とアジレント独自の処理により、きわめて優れた不活性度を備え、市販されているどの WAX カラムよりも高い感度を実現します。この革新的なカラムにより、以下のような利点をもたらされます。

- **トラブルシューティングや再分析の必要性を低減:** DB-WAX UI GC カラムなら、優れたピーク形状、不活性度の確実なカラム間再現性、そしてより安定したリテンションタイムを実現します。
- **カラムとメンテナンスのコストを削減:** DB-WAX UI カラムは、カラムの上限温度までの温度サイクルを繰り返しても、優れた不活性度が長期に渡って維持されます。
- **カラムの事前適格性評価が不要:** どの DB-WAX UI GC カラムも、品質管理時に実施されるアジレント独自の不活性度試験により、納入時での完全な不活性性能が確保されています。

- **最小限のワークフローの中断で簡単に導入:** DB-WAX UI GC カラムは、DB-WAX GC カラムと同等の選択性を備えているため、最小限のバリデーションでウルトライナートの性能へ簡単にアップグレードできます。DB-WAX の選択性にもとづく既存の化合物ライブラリを作り直したり変更する必要はありません。

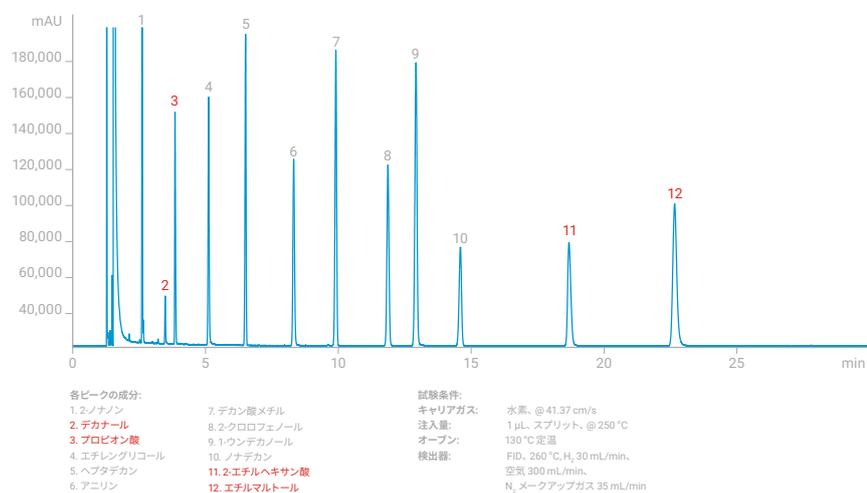




活性化化合物の信頼できる微量分析なら ウルトラライナートGC カラムで

DB-WAX UI GC カラムは、一貫したカラム不活性度における業界標準を塗り替えた Agilent J&W ウルトラライナート GC カラムファミリーの製品です。すべてのウルトラライナート GC カラムには、厳しい試験が実施されています。この試験により、優れた不活性度が確保され、活性の高い分析対象物を最適な状態で GC または MS 検出器まで移送することができます。その結果、きわめて低い検出下限が実現され、分析困難な極性対象化合物であっても、より正確に同定することが可能です。

DB-WAX ウルトラライナートによるテスト混合物の分析



DB-WAX ウルトラライナート QC テスト混合物には、デカナール、プロピオン酸、2-エチルヘキサン酸、エチルマルトールなど、強力な不活性度プローブが含まれています。この混合物を用いた試験により、分析困難な香料化合物に対する一貫した不活性度を確保することができます。

優れた不活性度を裏付ける: DB-WAX ウルトラライナートテスト混合物

強力なテスト混合物で、標準的な混合物では突き止めることのできないカラムの活性の欠陥を明確にすることができます。他の Agilent ウルトラライナート GC カラムの例にもれず、DB-WAX UI GC カラムにも、現場のニーズを反映した、業界で最も厳しいテスト混合物による試験が実施されています。その試験結果は、各カラムに付属の性能概要シートでご確認いただけます。

また、DB-WAX ウルトラライナートテスト混合物には、デカナール、プロピオン酸、エチルヘキサン酸、およびエチルマルトールが含まれています。この混合物を用いた試験により、活性の高い極性化合物に対する不活性性能が確保されています。

酸性化合物に対する 優れたピーク形状

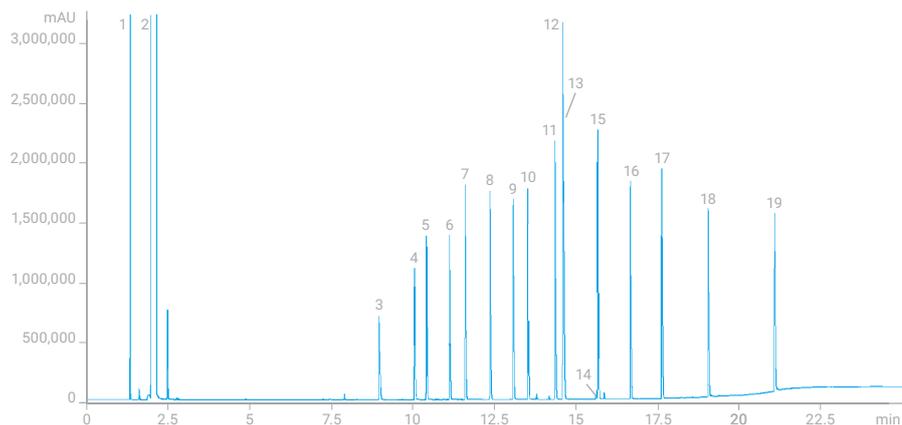


DB-WAX UI GC カラムがあれば、別途 FFAP カラムでの分析を実施する必要はありません。DB-WAX UI カラムに標準化することで、より幅広いアプリケーションに対応できるようになります。

他社製カラムとの比較: 遊離脂肪酸

DB-WAX ウルトラライナート GC カラム

30 m x 内径 0.25 mm、0.25 μ m (p/n 122-7032UI)



各ピークの成分:

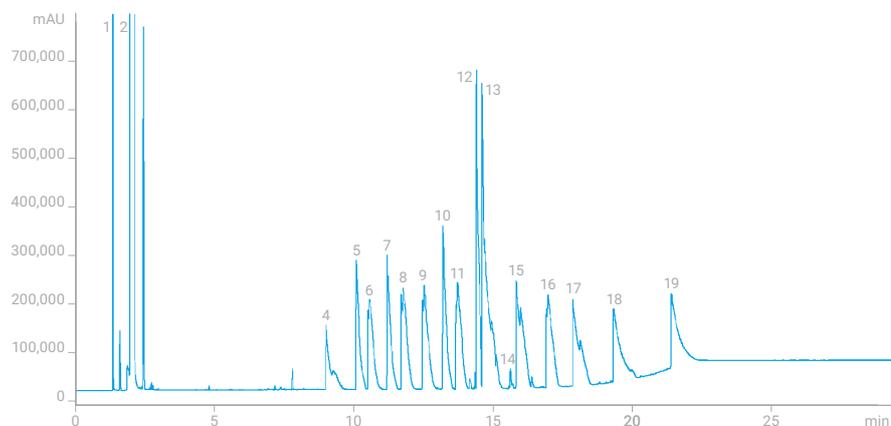
1. メタン
2. アセトン (溶媒)
3. 酢酸
4. プロピオン酸
5. イソ酪酸
6. 酪酸
7. イソ吉草酸
8. 吉草酸
9. 4-メチル吉草酸
10. ヘキサン酸
11. 4-メチルヘキサン酸
12. 2-エチルヘキサン酸
13. ヘプタン酸
14. ビルビン酸
15. オクタン酸
16. ノナン酸
17. デカン酸
18. ワンデシレン酸
19. ミリスチン酸 (テトラデカン酸)

試験条件:

キャリアガス: 水素、@ 41.37 cm/s
注入量: 1 μ L
注入口: スプリット、@ 250 °C
オープンプログラム: 130 °C 定温
検出器: FID、@ 260 °C、H₂ 30 mL/min、
空気 300 mL/min、N₂ メークアップガス
35 mL/min

標準的な WAX GC カラム

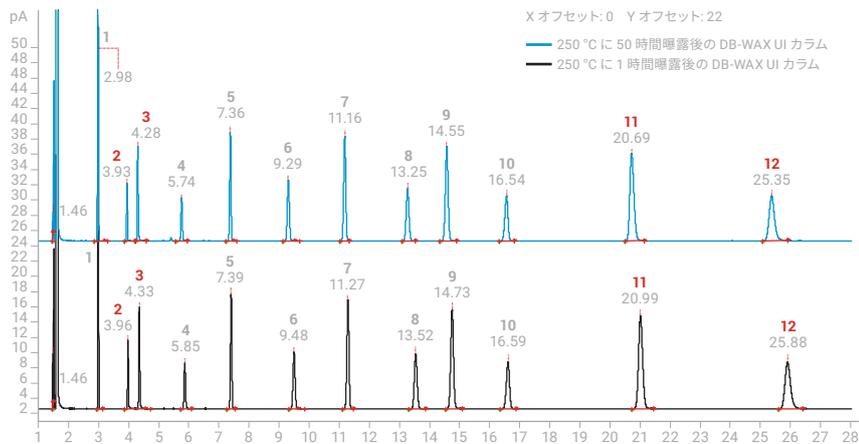
30 m x 内径 0.25 mm、0.25 μ m



この遊離脂肪酸混合物の分析において、DB-WAX UI GC カラムでは、標準的な WAX キャピラリカラムよりも優れたピーク形状が得られています。

他社製品との比較Tmax での安定性 DB-WAX ウルトラライナートと他社製カラム

Agilent DB-WAX UI カラムの不活性度



各ピークの成分:

1. 2-ノナン
2. デカノール
3. プロピオン酸
4. エチレングリコール
5. ヘプタデカン
6. アニリン
7. デカン酸メチル
8. 2-クロロフェノール
9. 1-ウンデカノール
10. ノナデカン
11. 2-エチルヘキサン酸
12. エチルマルトール

試験条件:

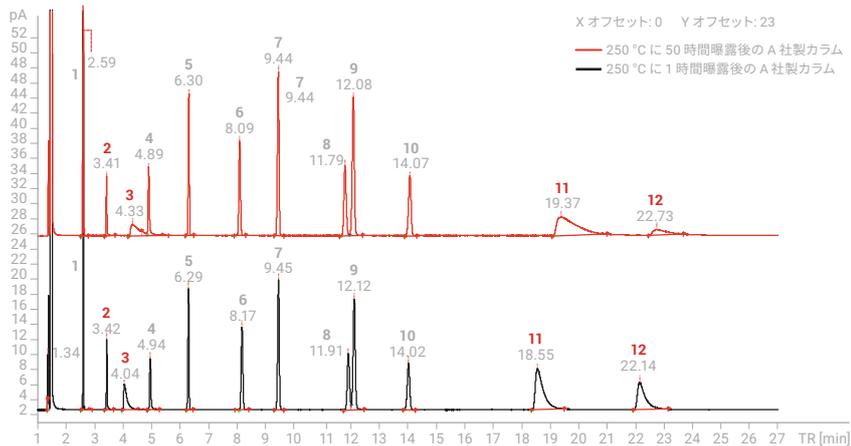
インジェクタ: 250 °C, スプリット比 1:75
 注入量: 1 µL
 流量: 1.1 mL/min, H₂ ガス
 オープンプログラム: 130 °C 定温
 検出器: FID, @ 260 °C

アプリケーションノート:

「高い不活性度と長いカラム寿命を誇る新しい PEG GC カラム」
 (5991-6683JAJP)

DB-WAX UI GC カラムは、上限温度範囲に 50 時間曝露した後も、きわめて高い不活性度と安定性を示し、ピークシフトが最小限に抑えられています。

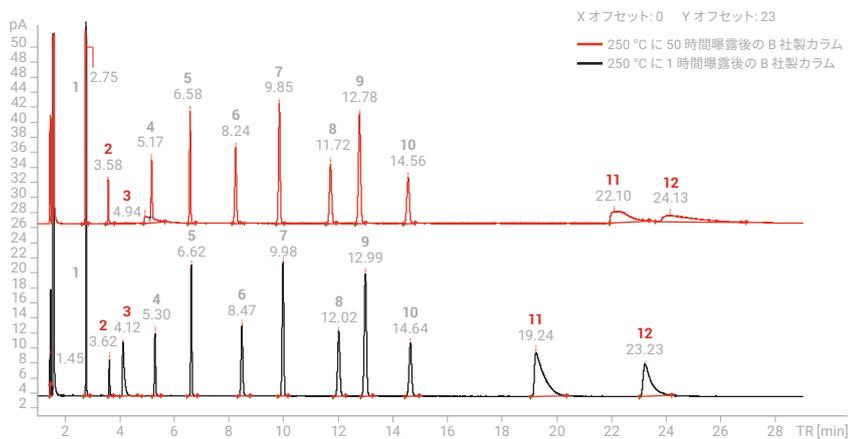
A 社製カラムの不活性度



高温

さらに高い最高温度で WAX カラムを使用する必要のあるアプリケーションのために、Agilent J&W では、最高温度が定温時 280 °C、昇温時 290 °C の DB-HeavyWAX を提供しています。詳細については、ホームページをご覧ください。

B 社製カラムの不活性度



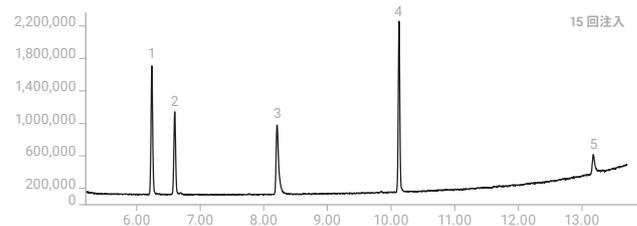
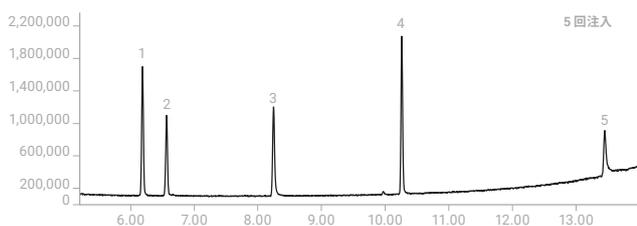
アルコール類およびグリコール類 に対する安定した不活性性能



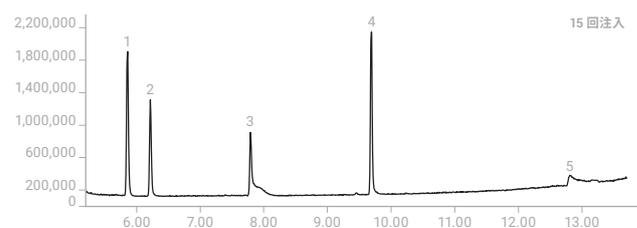
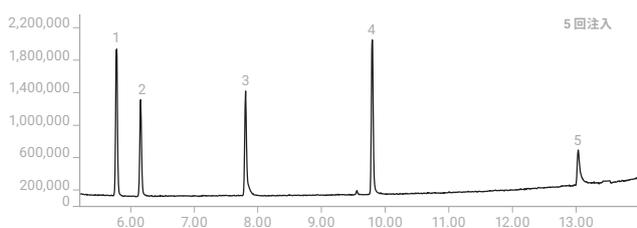
グリコール (ジオール) は、化粧品、ポリエステル、塗料、自動車用クーラント、洗浄液、木材仕上げ剤などの消費財および工業製品で使用されている化合物です。Agilent J&W DB-WAX ウルトライナート GC カラムは、これらの分析困難な化合物に対しても、標準的な DB-WAX カラムの持つ選択性を継承しつつ、優れた不活性度と耐久性を発揮します。

歯磨き剤に含まれるジエチレングリコール (DEG) とエチレングリコール (EG) の分析

DB-WAX UI



A 社製 WAX ms カラム



DB-WAX UI GC カラムは、微量濃度のジエチレングリコール (DEG) およびエチレングリコール (EG) の検出に求められる厳格な分析基準を満たしています。これらはどちらも毒物であり、工業用溶媒として、また不凍液で広く使用されています。

各ピークの成分:

1. 1,2-プロパンジオール
2. EG
3. 1,3-プロパンジオール
4. DEG
5. グリセリン

試験条件:

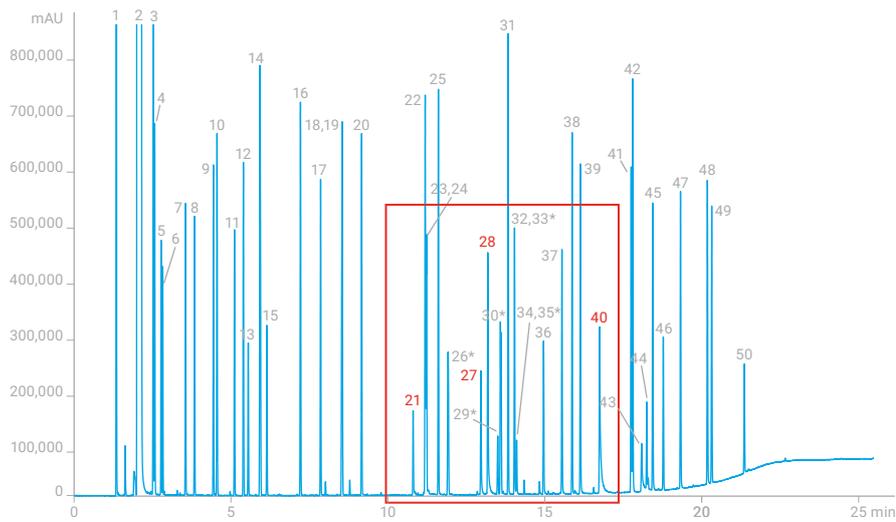
カラム: DB-WAX UI, 30 m x 0.25 mm, 0.25 μm (p/n 122-7032UI)
チューブ: Agilent Ultimate Plus 不活性化 FS チューブ, 5 m x 0.25 mm (p/n CP802505)
機器: Agilent 7683B オートサンプラおよびサンプルトレイ, 5 μL シリンジ (p/n G4513-80213)
注入量: 1 μL
キャリアガス: ヘリウム, 35 cm/s, 定流量モード
注入口: スプリット/スプリットレス, @ 250 °C, スプリット比 20:1
オープンプログラム: 100 °C (1 分間), 10 °C/min で 250 °C まで加熱, 4 分間保持
MSD: Agilent 5977A MSD
溶媒待ち時間: 4 分
MS 温度: 230 °C (イオン源), 150 °C (四重極)
トランスファーライン: 250 °C, EI スキャン 29 ~ 400 amu, EI スキャンモード 29 ~ 400 amu

アプリケーションノート:

「Agilent J&W DB-WAX ウルトライナートキャピラリー GC カラムによる歯磨き剤中のグリコール類の GC 分析」(5991-6637JAJP)

不活性度の比較: DB-WAX ウルトラライナートが優れた性能を発揮

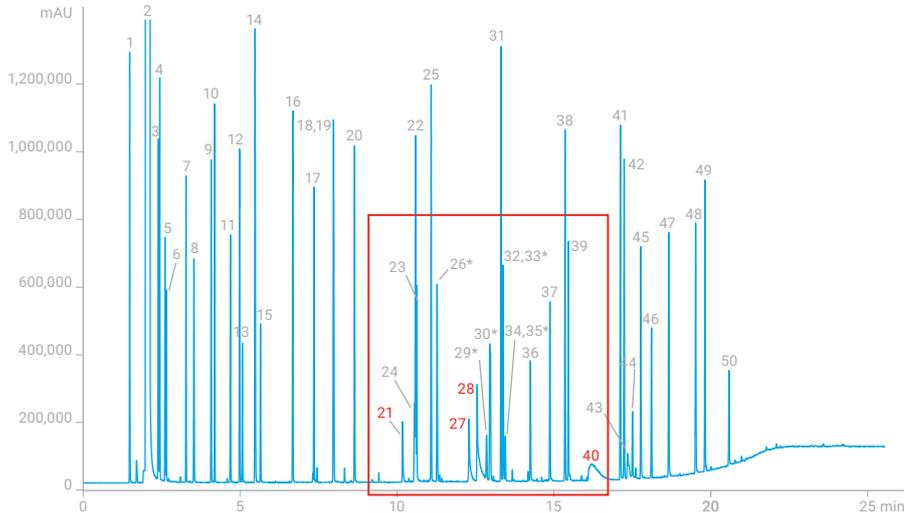
DB-WAX UI カラムの不活性度: アルコールおよびグリコールテスト混合物



各ピークの成分:

1. メタン
2. アセトン (溶媒)
3. メチルアルコール
4. tert-ブチルアルコール
5. イソプロピルアルコール
6. エチルアルコール
7. tert-アミルアルコール
8. n-プロピルアルコール
9. イソブチルアルコール
10. 2-メチル-2-ペンタノール
11. n-ブチルアルコール
12. 4-メチル-2-ペンタノール (メチルアミルアルコール)
13. 2-メトキシエタノール (エチレングリコールモノエチルエーテル)
14. 3-メチル-1-ブタノール (イソアミルアルコール)
15. 2-エトキシエタノール (エチレングリコールエチルエーテル)
16. シクロペンタノール
17. 1-ヘキサノール (n-ヘキシルアルコール)
18. シクロヘキサノール
19. 2-プロキシエタノール (エチレングリコールモノプロピルエーテル)
20. 1-ヘプタノール (n-ヘプテイルアルコール)
21. **プロピレングリコール (1,2-プロパンジオール)**
22. 2-(2-エトキシエトキシ)エタノール (ジエチレングリコールモノエチルエーテル)
23. 2-メチル-2,4-ペンタンジオール (n-ヘキシレングリコール)
24. エチレングリコール (1,2-エタンジオール, グリコール)
25. 1-ノナノール (n-ノニルアルコール)
26. グリセロールホルマル (異性体 2 種)
27. **1,3-プロパンジオール (トリメチレングリコール)**
28. **ネオペンチルグリコール (2,2-ジメチル-1,3-プロパンジオール)**
29. ジプロピレングリコール (*異性体 3 種のうち 1 つ目)
30. 2,5-ヘキサジオール (異性体 2 種)
31. 1-ウンデカノール (ウンデシルアルコール)
32. 1,4-ペンタンジオール
33. ジプロピレングリコール (*異性体 3 種のうち 2 つ目)
34. 1,2-ヘキサジオール
35. ジプロピレングリコール (*異性体 3 種のうち 3 つ目)
36. ジエチレングリコール (3-オキサ-1,5-ペンタンジオール)
37. 1,5-ペンタンジオール (ペンチレングリコール)
38. 1-トリデカノール (n-トリデシルアルコール)
39. 2-メチル-1,5-ペンタンジオール
40. **メチルネオペンチルグリコール (2,2-ジメチル-1,3-プロパンジオール)**
41. 1-ペンタデカノール (n-ペンタデシルアルコール)
42. アニルアルコール ((4-メトキシフェニル)メタノール)
43. グリセロール (グリセリン, プロパントリオール)
44. トリエチレングリコール (トリグリコール)
45. 1,8-オクタジオール (オクタメチレングリコール)
46. 1,4-ブタンジオール (テトラメチレングリコール)
47. 1,9-ノナンジオール (ノナメチレングリコール)
48. 1,10-デカンジオール (デカメチレングリコール)
49. ステアリルアルコール (1-オクタデカノール, n-オクタデシルアルコール)
50. テトラエチレングリコール (テトラグリコール)

C 社製 WAX カラムの不活性度: アルコールおよびグリコールテスト混合物



試験条件:

- カラム: DB-WAX UI, 30 m x 内径 0.25 mm, 0.25 μm (p/n122-7032UI)
- オーブンプログラム: 40 °C (0.5 分間), 10 °C/min で 250 °C まで加熱, 4 分間保持
- キャリアガス: 水素, @ 1.487 mL/min 定流量
- 注入力: 1 μL
- 注入口: スプリット比 20:1, @ 250 °C
- 検出器: FID, @ 260 °C, H₂ 30 mL/min, 空気 300 mL/min, N₂ メークアップガス 35 mL/min
- 使用した消耗品:

DB-WAX UI カラムでは、幅広いアルコール類およびグリコール類に対して、優れた性能が得られています。

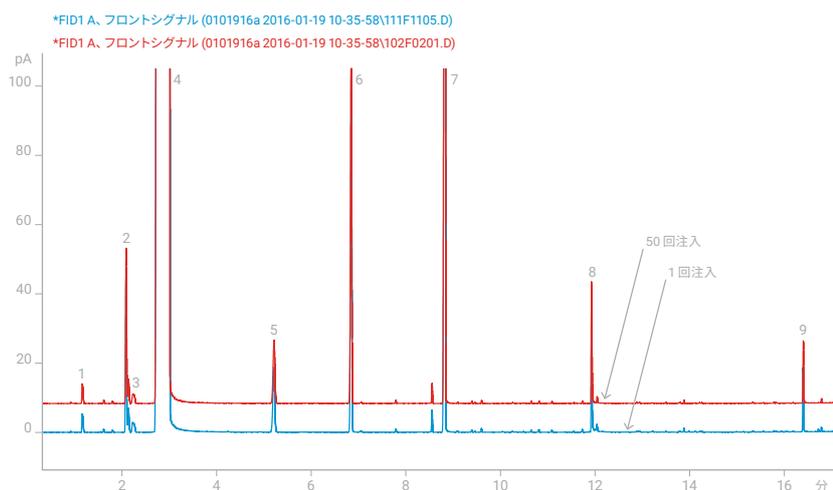
- ウルトラライナート低圧力損失ライナート (p/n 5190-2295)
- ウルトラライナートゴールドシール (p/n 5190-6144)
- セルフタイトカラムナット (p/n 5190-6194)
- グラフアイト/バスケル製フェラリ (p/n 5181-3323), 10 個
- 長寿命セパタム (p/n 5183-4761)

水溶性サンプルに対する 優れた耐久性



飲料/蒸留酒、水中のグリコール、およびヘッドスペースアプリケーションでは、Agilent J&W DB-WAX ウルトライナート GC カラムが備える優れた耐久性により、分析あたりのコストを削減することができます。DB-WAX UI カラムの化学結合・架橋型固定相は、溶媒での洗浄が可能です。また、水溶性サンプルの注入にも対応できます。

Maker's Mark ウイスキーのプロファイル



各ピークの成分:

1. アセチルアルデヒド
2. 酢酸エチル
3. メタノール
4. エタノール
5. 1-プロパノール
6. イソブチルアルコール
7. 2-メチル 1-ブタノール/3-メチル 1-ブタノール
8. 酢酸
9. フェニルエチルアルコール

試験条件:

カラム:	DB-WAX UI, 30 m x 0.25 mm x 0.25 μm (p/n 122-7032UI)
注入量:	0.5 μL
注入口:	スプリット比 20:1, @ 225 °C
注入口ライナ:	ウルトラライナート低圧力損失ライナ、ウール入り (p/n 5190-2295)
キャリアガス:	H2 定流量 2.5 mL/min
オープンプログラム:	35 °C で 5 分間保持、12 °C/min で 240 °C まで加熱、5 分間保持
検出器:	FID, @ 260 °C

アプリケーションノート:

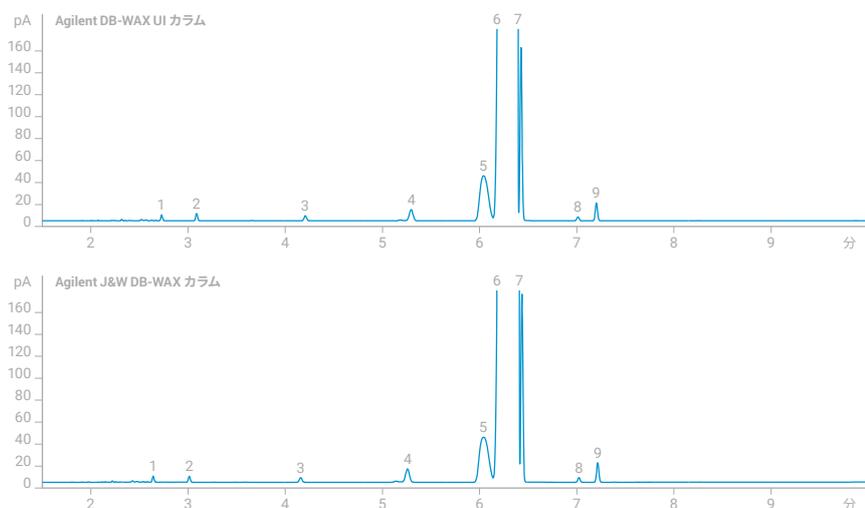
「Agilent J&W DB-WAX ウルトライナートキャピラリー GC カラムによる蒸留酒の分析」(5991-6638JAJP)

アルコール度数 90 度のストレートウィスキーを 50 回以上注入した後も、安定したリテンションタイムとピーク形状が維持されています。

化学結合型 PEG 固定相のキャピラリカラムは、溶質としての異性体の分離や、複雑なプロセス流における極性溶質からの非極性飽和炭化水素の高速分離など、多くの ASTM メソッドで仕様が規定されています。

すべての DB-WAX UI GC カラムには、アジレント独自の厳格な試験手順が実施され、業界で最も厳しい性能仕様を満たしていることが確認されているため、安心してご利用いただけます。

BTEX の分析



各ピークの成分:

1. n-ノナン
2. ベンゼン
3. トルエン
4. n-ウンデカン (IS)
5. エチルベンゼン
6. p-キシレン
7. m-キシレン
8. クメン
9. o-キシレン

試験条件:

カラム: DB-WAX UI, 30 m x 0.25 mm x 0.25 μm (p/n 122-7032UI)
DB-WAX, 30 m x 0.25 mm x 0.25 μm (p/n 122-7032)

注入量: 0.1 μL

注入口: スプリット比 80:1, @ 220 °C

キャリアガス: ヘリウム, @ 1.3 mL/min (定流量)

オープンプログラム: 65 °C で 6 分間保持, 25 °C/min で 210 °C まで加熱, 4 分間保持

検出器: FID, @ 250 °C

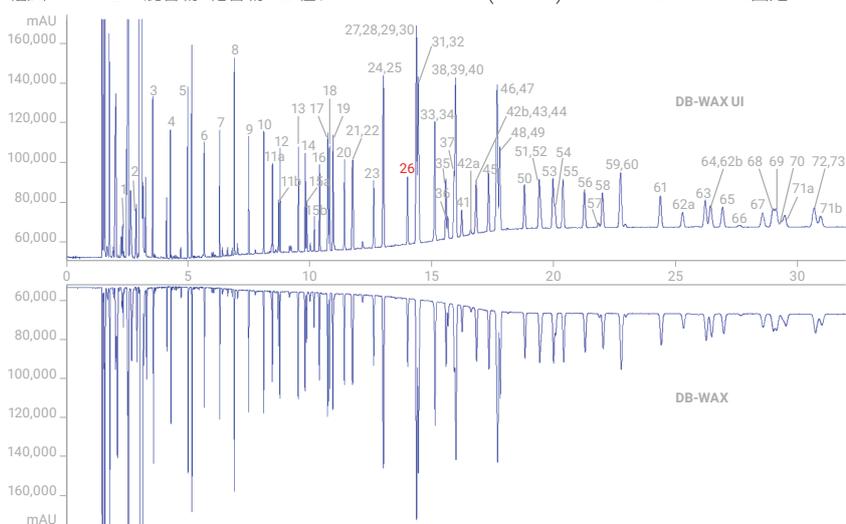
BTEX およびその他の工業用溶媒に対して同等の選択性を持つため、容易に DB-WAX UI カラムに標準化することができます。

DB-WAX メソッドをより信頼性の高い定性・定量メソッドへと簡単にアップグレード



活性化合物 (アルコール、カルボン酸、アルデヒドなど) を分離するための DB-WAX メソッドを、Agilent J&W DB-WAX ウルトライナート GC カラムへと簡単に切り替えることができます。既存のメソッドやリテンションタイムライブラリを変更する必要はありません。DB-WAX カラムと DB-WAX UI カラムの選択性および操作温度はまったく同じであるため、最小限のバリデーションで、より効率の高いメソッドへ標準化することができます。

幅広い FAME の混合物: 化合物 72 種、メチルステアレート (nC18:0) のリテンションタイムを固定



試験条件:
 カラム: DB-WAX UI, 30 m x 内径 0.25 mm, 0.25 μ m (p/n 122-7032UI)
 注入口: スプリット/スプリットレス, @ 250 °C (p/n G3970A), スプリット比 50:1
 注入量: 1 μ L
 キャリアガス: 水素
 ヘッド圧: メチルステアレートのリテンションタイムを 14,000 分に固定、キャリアガスの圧力を 定圧モードに設定、速度は 50 °C および 53 kPa で 約 36 cm/s
 オープンプログラム: 50 °C で 1 分間保持、25 °C/min で 200 °C まで加熱、 3 分で 230 °C まで加熱、18 分間保持
 検出器: FID, @ 280 °C, H2 40 mL/min, 空気: 450 mL/min, He メークアップガス: 30 mL/min
 使用した消耗品:
 ・ウルトライナート低圧力損失ライナ (p/n 5190-2295)
 ・ウルトライナートゴールドシール (p/n 5190-6144)
 ・セルファイブカラムネット (p/n 5190-6194)
 ・グラファイト/ベスベル製フェラリ (p/n 5181-3323), 10 個
 ・長寿命セプタム (p/n 5183-4761)

この FAME 化合物 72 種の分離結果から、DB-WAX ウルトライナートカラムの選択性が DB-WAX カラムと同等であることがわかります。

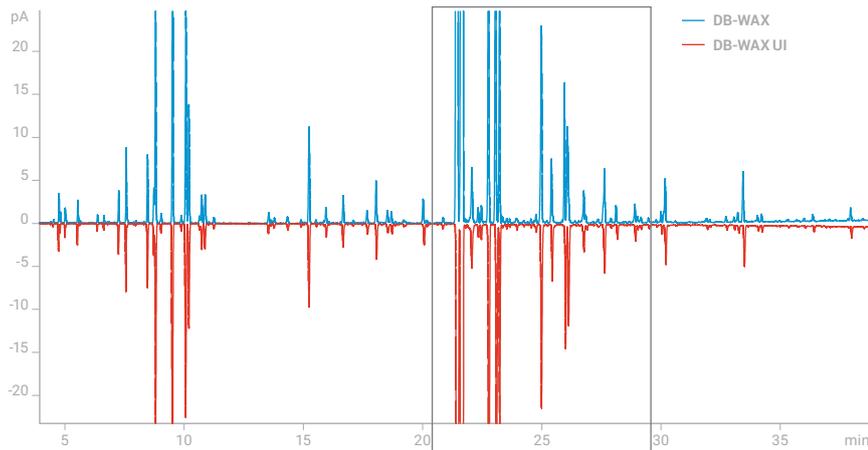
アジレントは、お客様が顧客の要望に応えるうえで役立つ製品とサービスを提供し、食品分析業界をリードしてきました。サンプル前処理から、機器、消耗品、強力なソフトウェアまで、分析ワークフローを総合的に支えるアジレントのソリューションは、受入検査、新製品の開発、品質管理、安全性、包装など、食品生産チェーンのあらゆる場面で利用されています。

分析者の声

「DB-WAX UI カラムへの切り替えにより、不活性度が上がったことで、全アルデヒド含有量の再現性が向上し、ピークテーリングがほぼ解消されました。選択性は、標準的な DB-WAX と変わりません。複雑な柑橘オイルの分析では、このことがきわめて重要になります。また、新しいカラムの予備試験も必要なくなりました。」

– Andreas Böker 博士、MCI Miritz Citrus 社

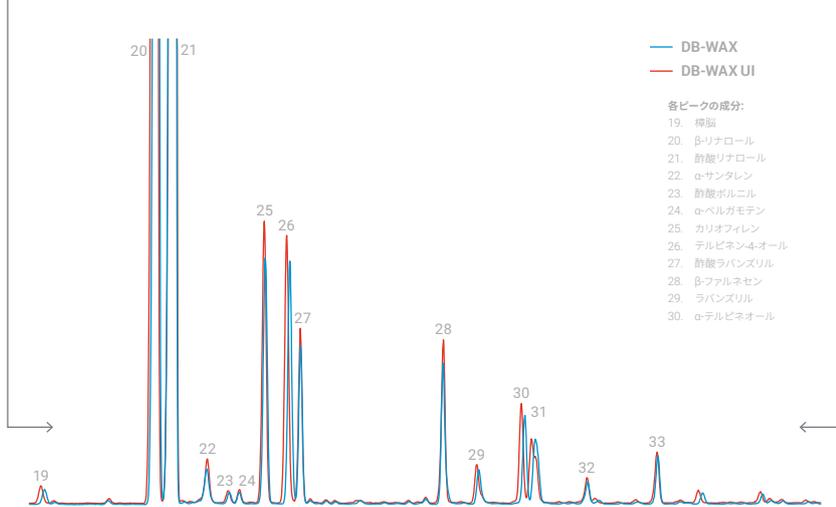
ラベンダー精油サンプル: ラベンダー精油の分離において、DB-WAX カラムと DB-WAX UI カラムで同等の保持性能が得られています。



試験条件:
カラム: DB-WAX UI, 30 m x 0.25 mm, 0.25 µm (p/n 122-7032UI)
 DB-WAX, 30 m x 0.25 mm, 0.25 µm (p/n 122-7032)
機器: Agilent 7683B オートサンブラおよびサンプルトレイ、5 µL シリンジ (p/n G4513-80213)
注入量: 1 µL
キャリアガス: ヘリウム、定流量モード
RTL: D-リモネンを 8.450 分に固定
注入口: スプリット/スプリットレス、@ 250 °C、スプリット比 200:1
オープンプログラム: 52 °C (2 分間)、5 °C/min で 80 °C まで加熱 (4 分間)、4 °C/min で 250 °C まで加熱、1 分間保持
MSD: Agilent 5977A MSD、溶媒待ち時間 3.4 分、230 °C (イオン源)、150 °C (四重極)
トランスファーライン: 250 °C、EI スキャンモード 40 ~ 400 amu
使用した消耗品:

- ・ワルトライナート低圧力損失ライナ (p/n 5190-2295)
- ・ワルトライナートゴールドシール (p/n 5190-6144)
- ・セルフタイトカラムナット (p/n 5190-6194)
- ・グラファイト/ベスベル製フェラル (p/n 5181-3323)、10 個
- ・長寿命セプタム (p/n 5183-4761)

拡大図: テルペン、テルピネオール、およびセスキテルペン化合物のレスポンスが向上



アプリケーションノート:
 「Agilent J&W DB-WAX ウルトライナートキャピラリー GC カラムによるラベンダーオイルの分析」
 (5991-6635.JAJP)

DB-WAX UI カラムは、DB-WAX カラムと同等の選択性を備えています。そのため、DB-WAX カラムを DB-WAX UI カラムに置き換える場合も、メソッド開発やバリデーションの必要はありません。

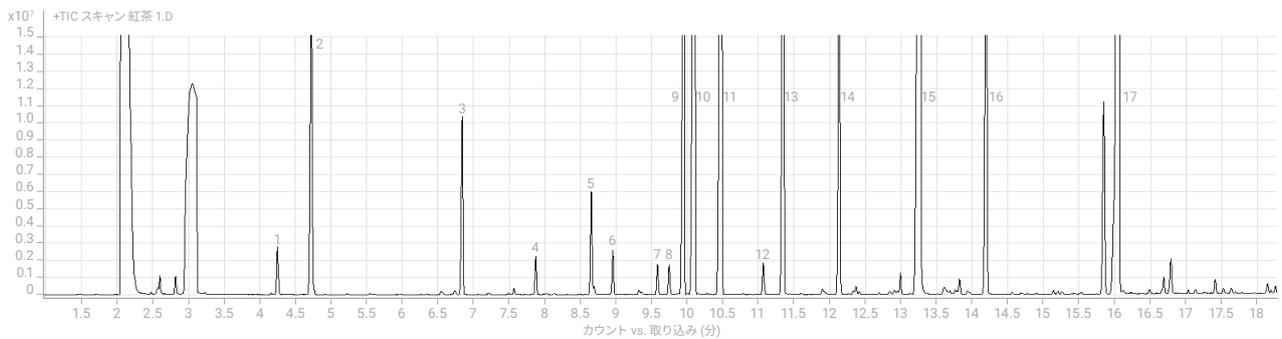
サクセスストーリー： 香り分析



食品および飲料の香りプロファイリングには、WAX カラムが広く使用されています。香り分析では、濃度範囲の広いさまざまな化合物が含まれる複雑な混合物を扱うことも少なくありません。

ここに示す例では、DB-WAX UI カラムにより、実際のサンプルで最適なレスポンスが得られています*。

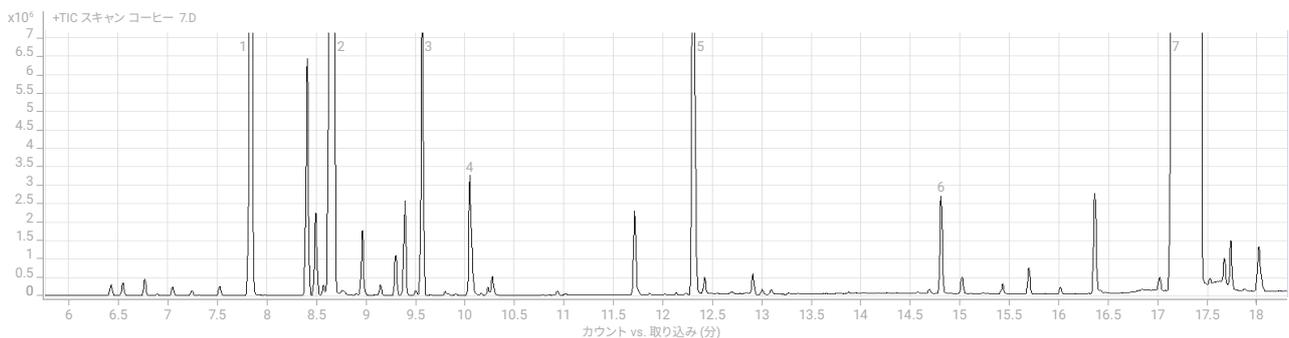
DB-WAX UI カラムによる紅茶の香り分析



各ピークの成分:

- | | | |
|----------------------------|---|---|
| 1. ブタン、1,1-ジエトキシ | 7. α-メチル-α-[4-メチルベンチル]オキシランメタノール | 11. trans-リナロールオキシド (フラノイド) |
| 2. ブタン、1,1-ジエトキシ-3-メチル- | 8. α-メチル-α-[4-メチルベンチル]オキシランメタノール | 12. ノナン、1,1-ジエトキシ |
| 3. 2-ヘキセナール | 9. 3-ブテン-1-オール、TMS誘導体 | 13. リナロール |
| 4. 2-ヘキセナールジエチルアセテート、trans | 10. 2-フランメタノール、5-エチルテトラヒドロ-α,α,5-トリメチル-, cis- | 14. 3-シクロヘキセン-1-オール、4-メチル-1-(1-メチルエチル)-, (R)- |
| 5. 3-ヘプタノール、3-メチル- | | 15. 2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1,4-ジオン |
| 6. 2-ペンタノン、4-ヒドロキシ-4-メチル- | | 16. サリチル酸メチル |
| | | 17. 2-シクロペンテン-1-オン、3-メチル-2-(2-ペンテニル)-, (Z)- |

DB-WAX UI カラムでのコーヒーの香り分析



各ピークの成分:

- ジメチルケトール
- エチル 2-ヒドロキシプロパン酸
- トリメチルピラジン
- 酢酸
- 酪酸
- カプロン酸
- トリアセチン

試験条件:

カラム: DB-WAX UI, 30 m x 内径 0.25 mm, 0.25 μm (p/n122-7032UI)
 注入量: 1 μL, スプリット比 1/10, @ 250 °C
 ライナ: ウルトラライト注入コライナ (p/n 5190-2293)
 オープンプログラム: 50 °C (2 分間), 10 °C/min で 250 °C まで加熱 (3 分間)
 キャリア: 1 mL/min, He, 定流量
 MS: スキャン (35 ~ 550 amu)

*クロマトグラム提供: Frank David 博士 Research Institute for Chromatography, ベルギー

製品情報

お客様のアプリケーションに最適なウルトラライナート GC カラムは？

↑	高極性	DB-WAX UI
	中極性	DB-35ms UI
		DB-624 UI
↓	非/低極性	DB-5ms UI
		HP-5ms UI
		DB-1ms UI
		HP-1ms UI

特定アプリケーション用のウルトラライナートカラム

- DB-UI 8270D: 環境分野、半揮発性化合物
- DB-Select 624 UI <467>: 製薬分野、残留溶媒
- DB-FATWAX UI: 脂肪酸と FAME
- DB-BAC1 および DB-BAC2 ウルトラライナート: 血中アルコール混合物用**

カラムの選択にお迷いですか？

Agilent J&W GC カラムセレクションツールでは、
わずか数クリックで最適なカラムを見つけることができます。

www.agilent.com/chem/jp

流路の不活性度を最大限に高めることにより、現代の分析に求められる ppb または ppt の検出レベルを実現することができます。イナートフローパスを構築するためのカラム、消耗品のカタログは、アジレントのホームページをご覧ください。

アジレントが提供するウルトラライナート GC カラムのラインナップをご覧ください。



イナートフローパスのカタログ
詳しくはホームページをご覧ください。



GC 消耗品カタログ
詳しくはホームページをご覧ください。

ウルトラライナート DB-WAX GC カラム

内径 (mm)	全長 (m)	膜厚 (μm)	部品番号
DB-WAX ウルトラライナート			
0.18	20	0.18	121-7022UI
		0.30	121-7023UI
		0.50	121-7024UI
0.20	25	0.20	128-7022UI
		0.50	128-7023UI
0.25	15	0.25	122-7012UI
		0.25	122-7032UI
	30	0.25	122-7032UI-INT*
		0.50	122-7033UI
0.32	60	0.25	122-7062UI
		0.50	122-7062UI-INT*
	15	0.25	123-7012UI
		0.25	123-7032UI
	30	0.25	123-7032UI-INT*
		0.50	123-7033UI
60	0.25	123-7033UI-INT*	
	0.50	123-7062UI	
0.53	15	0.25	123-7063UI
		0.50	123-7063UI-INT*
	30	1.00	125-7012UI
		0.25	125-7031UI
	60	0.25	125-7037UI
		1.00	125-7032UI
	60	1.00	125-7062UI

* Intuvo GC との併用のみ可。

**本製品は法医学分野の実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。

イナートフローパス

不活性を実現する統合されたアプローチ: アジレントならではの利点

流路の不活性化は、分析に不可欠な要素であると同時に、 GC にさらなる進化をもたらす最先端技術

Agilent イナートフローパスソリューションは、GC および GC/MS の流路を構成するあらゆる段階で化合物との相互作用を最小限に抑えます。これにより、システムの性能を高め、より大きな成果を引き出し、より多くのサンプルを分析できるようになります。予定外のメンテナンスや再キャリブレーションに煩わされることもありません。GC 分析でわずかな化合物も見逃しません。



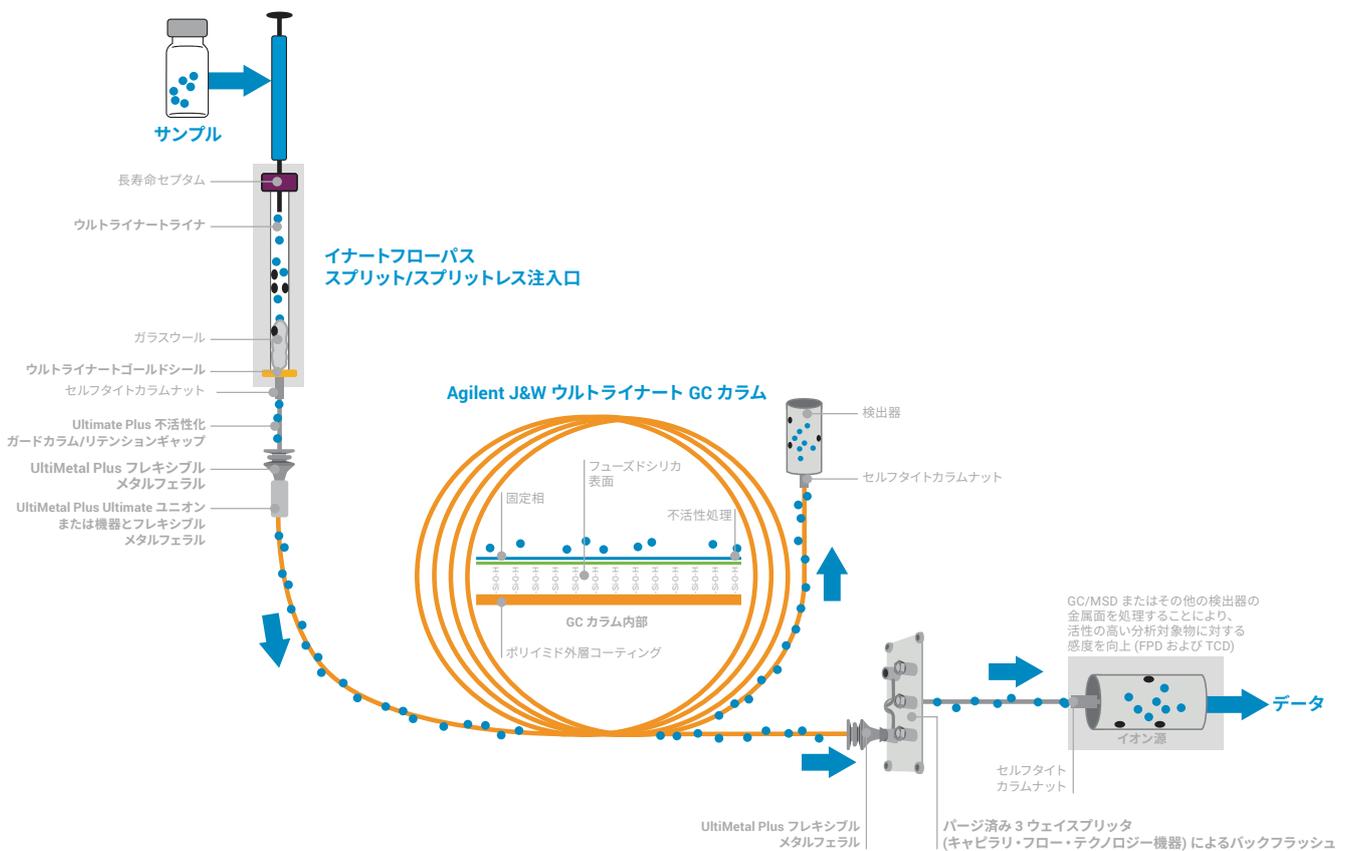
Agilent ウルトライナートライナとゴールドシール



Agilent UltiMetal Plus フレキシブルメタルフェラル



Agilent セルフタイトコラムナット



消耗品およびサービス

機器の稼働期間を通して最大限の性能を維持する アジレントの消耗品とサービス

正確で信頼性の高い結果を提供

アジレントのサンプル前処理製品を利用すれば、サンプルから価値ある分析結果を容易に引き出すことができます。

- Captiva フィルタにより機器性能を向上
- Bond Elut QuEChERS キットによりコストを削減し、時間を節約
- Bond Elut シリカおよびポリマー SPE 製品により、より低い検出下限を実現
- Enhanced Matrix Removal (EMR) により複雑なマトリックス中の脂質を選択的に除去



機器を最大限に保護

Agilent ガスクリーンフィルタシステムは、機器に導入されるガスを浄化し、カラムの損傷や感度の低下、機器のダウンタイムのリスクを低減します。

- クリーンなガスを供給して正確な分析に貢献
- 迅速でリークのないフィルタ交換によりダウンタイムを短縮
- 短期間でコストを回収できる高い経済性
- フィルタの交換時期を知らせる高感度のインジケータ付きのため、機器を最大限に保護

問題をすばやく解決、稼働時間を増加、リソースを有効に活用

1 台の機器から、複数のラボに設置された複数ベンダーの機器まで、必要なサポートはアジレントにお任せください。お客様が投資から最大限の価値を引き出せるようお手伝いします。

- 修理およびメンテナンスサービス
- リモートアドバイザーサポート
- お客様のニーズに合ったサービスプラン
- コンプライアンスサポート
- エンタープライズサービス



Agilent CrossLab - 「見えない価値」を「目に見える成果」へ

機器という枠を越えて、サービス、消耗品、ラボ全体のリソース管理から構成される CrossLab は、ラボの効率の向上、運用の最適化、機器の稼働時間の延長、ユーザースキルの開発などを支援します。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2019
Printed in Japan, June 3, 2019
5991-6709JAJP